

Neo-QuickCall.ver1.3

かんたん設定マニュアル



『営業支援型コールシステム』
開通からご利用までの設定について記載した
解説書です。

PART1: 初期設定編－Neo-Quick call初期設定

1. クイックコール管理者画面へログインする

- ・添付資料の「提供URL」と記載のあるファイルを開き、下部の管理者用URLからログインしてください。



① URLをコピーして貼り付ける

② アカウントネームとPWを入力してログインする

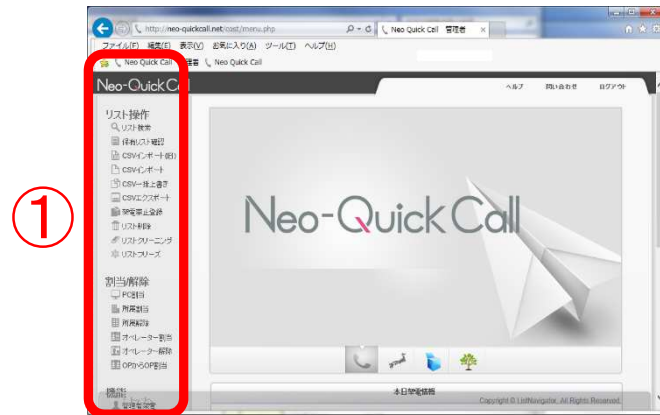


Check!  ■ブラウザはInternet Explorerを利用してください

PART1: 初期設定編－Neo-Quick call初期設定

2. オペレータを作成する

- ・架電をするオペレータの作成を行ってください。



- ① 管理者画面左側の機能項目
(以下管理者メニュー)から「情報追加/編集」を選択

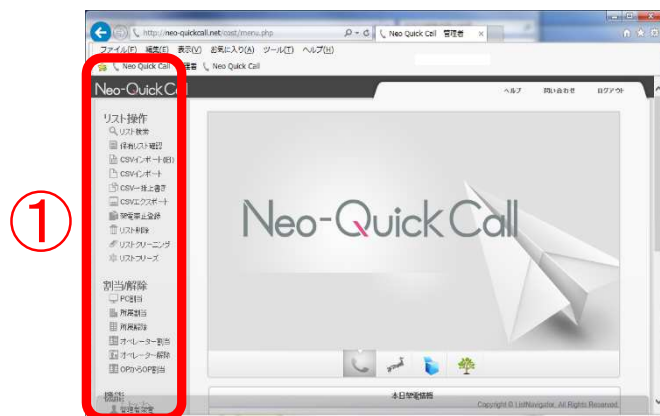


- ② オペレータ個人の名前、ログインに利用
するPWを設定し、入力後「担当OPの
変更を反映」を押下し保存します

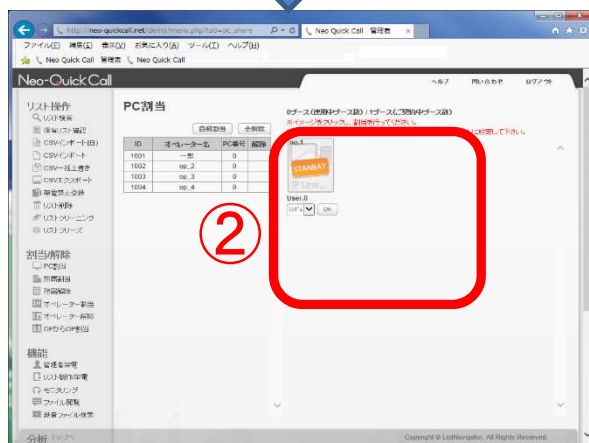
PART1: 初期設定編－Neo-Quick call初期設定

3.オペレータヘブースを割り当てる

- ・各オペレータヘブースの割当を行ってください。



①管理者メニューから「PC割当」を選択



②赤枠内にご契約頂いたブース数が表示されています。ブースをクリックし、オペレータへ割当を行ってください。
橙色で表示されている「STANBAY」が、青色の「USED」へ変われば割当完了です。

PART1: 初期設定編－Neo-Quick call初期設定

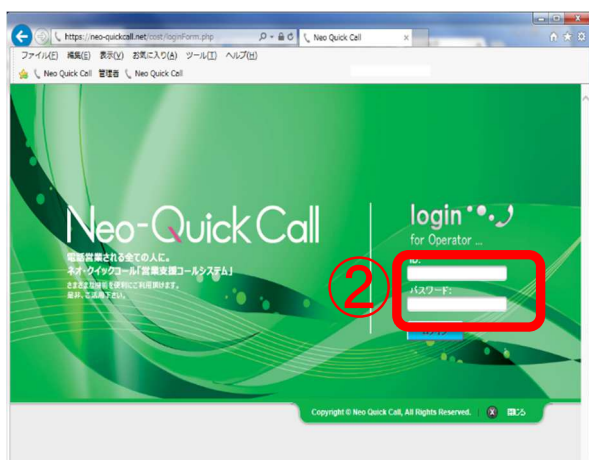
4. オペレータ画面へログインする

- 添付資料の「開通のご案内」と記載のあるファイルを開き、下部のオペレータ用URLからログインしてください。**(※管理者用URLとオペレータ用URLは異なります。また、ブラウザは必ずInternet Explorerを利用してください)**



①URLをコピーして貼り付ける

②「2.オペレータの作成」にて作成したIDとPWを入力してログインする



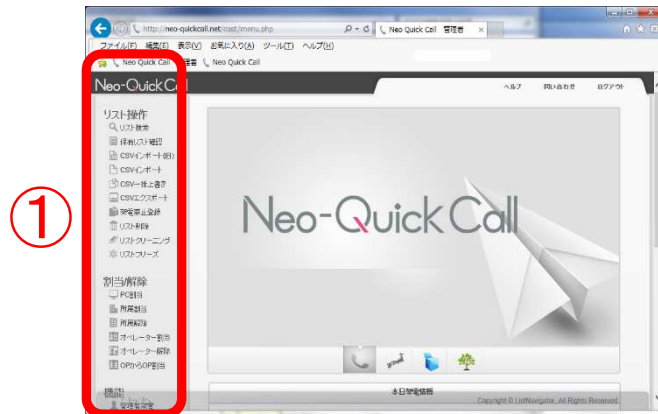
Check!

■オペレータ画面ログインの際にアドオン追加のポップアップが出た場合、必ずアドオンの追加を行ってください。

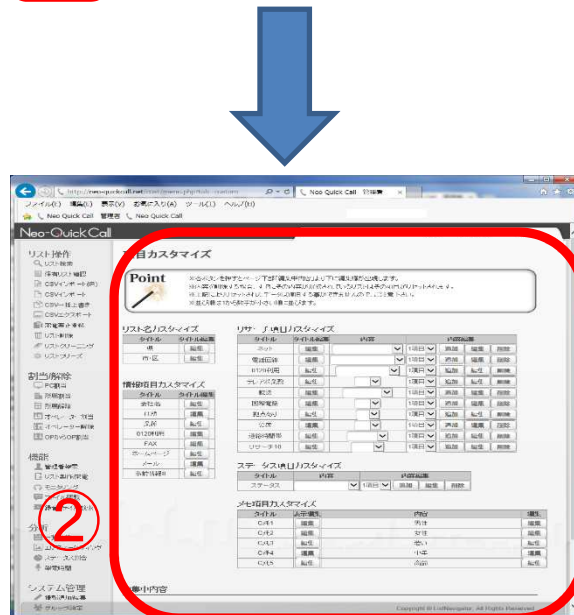
PART1: 初期設定編—Neo-Quick call初期設定

5.項目を作成する

・オペレータ画面にて利用する項目を作成する



①管理者メニューから「項目カスタマイズ」を選択



②本画面にてオペレータ画面に反映する項目の作成を行います。詳細については次ページで説明します。

次ページへ続く

PART1: 初期設定編—Neo-Quick call初期設定

5.項目を作成する(前ページの続き)

・オペレータ画面にて利用する項目を作成する

The screenshot displays the Neo-Quick Call management interface. The left sidebar contains navigation links for list operations, assignment/deassignment, functions, and analysis. The main content area is titled '項目カスタマイズ' (Item Customization) and includes a 'Point' section with instructions. Below this, there are five red-bordered boxes highlighting specific customization options, each numbered with a circled red number:

- ① **リスト名カスタマイズ** (List Name Customization): A table for customizing list names.
- ② **情報項目カスタマイズ** (Information Item Customization): A table for customizing information items.
- ③ **リサーチ項目カスタマイズ** (Research Item Customization): A table for customizing research items.
- ④ **ステータス項目カスタマイズ** (Status Item Customization): A table for customizing status items.
- ⑤ **メモ項目カスタマイズ** (Memo Item Customization): A table for customizing memo items.

Each table has columns for 'タイトル' (Title), 'タイトル編集' (Title Edit), '内容' (Content), and '内容編集' (Content Edit). The tables are as follows:

タイトル	タイトル編集
県	編集
市・区	編集

タイトル	タイトル編集
会社名	編集
住所	編集
業種	編集
0120利用	編集
FAX	編集
ホームページ	編集
メール	編集
事前情報8	編集

タイトル	タイトル編集	内容	内容編集
ネット	編集	1項目	追加 編集 削除
電話回線	編集	1項目	追加 編集 削除
0120利用	編集	1項目	追加 編集 削除
テレアネ業務	編集	1項目	追加 編集 削除
転送	編集	1項目	追加 編集 削除
国際電話	編集	1項目	追加 編集 削除
拠点あり	編集	1項目	追加 編集 削除
公衆	編集	1項目	追加 編集 削除
連絡時間等	編集	1項目	追加 編集 削除
リサーチ10	編集	1項目	追加 編集 削除

タイトル	内容	内容編集
ステータス	1項目	追加 編集 削除

タイトル	表示編集	内容	編集
C/F1	編集	男性	編集
C/F2	編集	女性	編集
C/F3	編集	若い	編集
C/F4	編集	中年	編集
C/F5	編集	高齢	編集

①リスト名カスタマイズ

クイックコール内でリストを管理するための項目になります。不明な場合、飛ばして構いません。

②情報項目カスタマイズ

お客様ご用意のリスト項目を事前に反映させる項目になります。
(例:会社名、住所など)

③リサーチ項目カスタマイズ

事前にチェックボックスとして設定した内容をOP画面で選択して保存する事が出来ます。

④ステータス項目カスタマイズ

架電結果を事前に項目として設定する必要があります。

⑤メモ項目カスタマイズ

事前に決めた内容をボタンにて短縮入力することが出来ます。

6. 「システムカスタマイズ」でステータス処理を設定する

ここでは、前CHAPTERで設定した「ステータス項目」が、オペレーターによってコールの結果として入力された際に、Neo-QuickCallの情報処理上でどのように扱われるかを設定します。

管理者メニューの「**システムカスタマイズ**」からそれぞれ設定を行ってください。

・受注として扱うステータス

この条件にあてはまるステータスが入力された場合、それは「成約」の発生として処理されます。

・リスト落ちステータス

この条件にあてはまるステータスが入力された場合、オペレータの画面から表示されないようになります。成約やクレームなど今後架電する必要が無いステータスを登録してください。

・見込みステータス

この条件にあてはまるステータスが入力された場合、「見込み案件」として担当オペレーターからこのリストが解除されたりすることを防ぎ易くなります。

・有効コール除外ステータス

この条件にあてはまるステータスが入力された場合、Neo-QuickCallのシステムは、間違い電話や、不通電話といった有効なコールではないコールだったものとして扱います。

・コール数除外ステータス

そもそも、電話番号を確認した時点でコールすらもしない案件をオペレーターが処理する際に使われるステータスです。たとえば、法人に対する営業活動の場合などで相手先が100%否客だと判断できる場合のリスト消化のためのステータスです。

7. リスト分け項目を決める

- ・本項目ではご用意頂いたリストをクイックコールで反映させる手順について説明します。

まず、インポートしたリストを分別する項目を**2つ**決定して頂きます。

一つ目の項目は大項目のリスト分けとして、二つ目の項目は一つ目に設定した項目をさらに区分けする情報を設定します。

例えば、一つ目の項目に地域(都道府県)、二つ目の項目に導入回線と設定する事で、「東京都のフレッツ光を利用中顧客のリスト」というような形で管理する事が出来ます。

また、上記内容はお客様によって異なるため、後述する**8. リスト分け項目を追加する**にて、**ご用意のリストに列としてお客様側で作成して頂く必要があります。**

本項目については、インポート後に変更が出来ないため、この時点で必ず決定してください。

A	B	C	D	E
電話番号	県	導入回線	会社名	住所
0120-275	福岡県	フレッツ光	コスト削減	福岡市博多
092-433	福岡県	フレッツAD	コスト削減	福岡市博多

上記例の場合B列、C列の追加が必要です。

Check!



項目決定のポイントは**OPへ割り振りを行うリストの単位**です。
OPが少人数でリストを区分する必要がない場合、「無し」や「区分不要」等でも架電は可能です。

8. リスト分け項目を追加する

- ・前項目で決めたリスト分けの項目を列として既存のリストに追加します。
元々データにある情報を追加する場合追加の必要はありません。(下図は前項目で例にあげたリスト分け項目の追加です。)

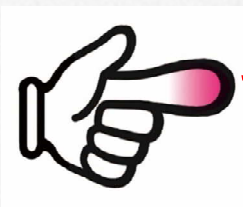
A	B	C
電話番号	会社名	住所
0120-275-	コスト削減	福岡市博多
092-433-	コスト削減	福岡市博多



A	B	C	D	E
電話番号	県	導入回線	会社名	住所
0120-275-	福岡県	フレッツ光	コスト削減	福岡市博多
092-433-	福岡県	フレッツAD	コスト削減	福岡市博多

リスト分けする「県」と「導入回線」を追加する。(例)

Check!

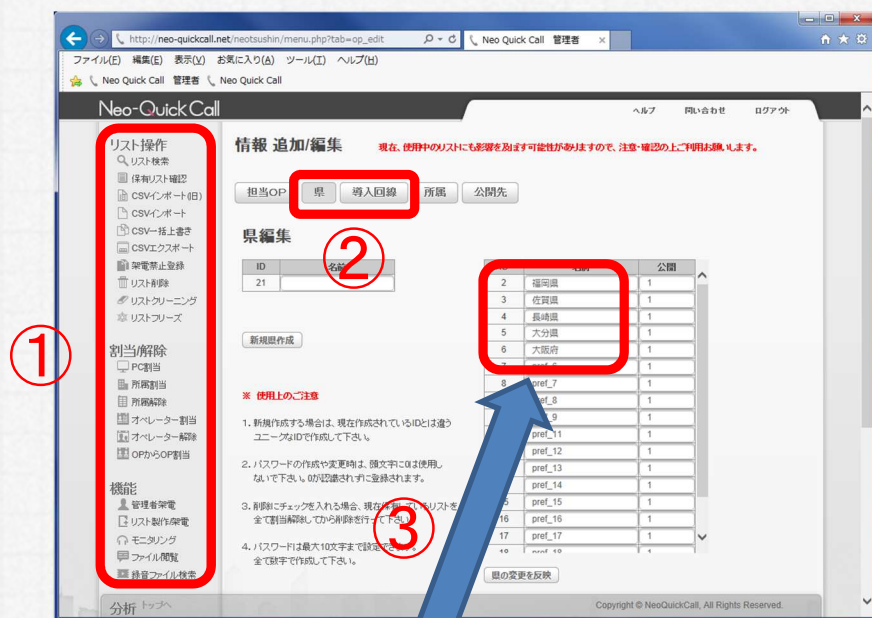


すべての行に該当項目を追加してください。
リスト分け項目が無い場合、インポート時に
エラーになります。

PART2: リストインポート編

9. 追加した列をNeo-Quick callに反映させる

- ・「8. リスト分け項目を追加する」にて作成した列の項目をクイックコールに保存します。



① 管理者メニューから「情報追加/編集」を選択

② 県/導入回線を選択(デフォルトでは地域/リスト名)
※タイトルの編集は「項目カスタマイズ」にて可能です。

③ 追加した列をすべて赤枠内の列に反映させてください(コピー＆ペースト等)。終了後、下部のボタンから変更を反映する。

A	B	C	D	E
電話番号	県	導入回線	会社名	住所
0120-275	福岡県	フレッツ光	コスト削減	福岡市博多区
092-433	福岡県	フレッツAD	コスト削減	福岡市博多区



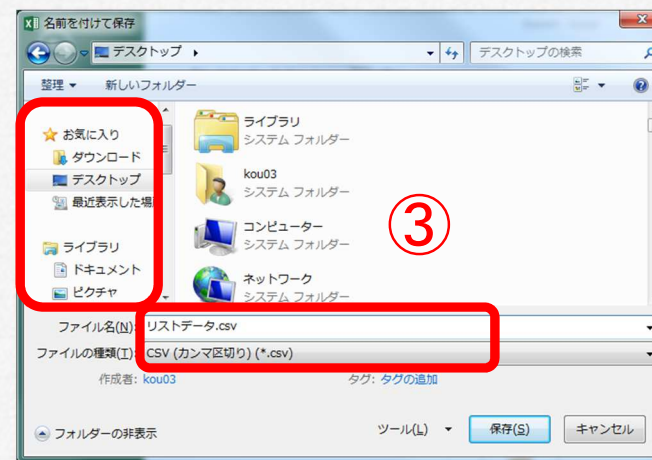
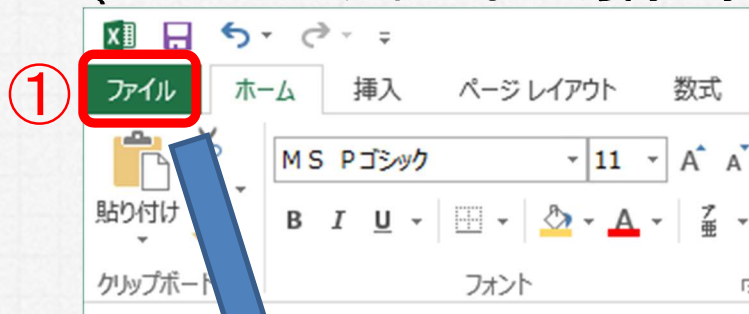
左の例の場合、「県」にB列の内容、「導入回線」にC列の内容を保存する必要があります。

PART2: リストインポート編

10. リストデータを保存する

※加工したデータの保存はMicrosoft Office Excelの有無によって、手順が異なります。

EXCELをお持ちの方は、下記手順にて保存する
(EXCELのバージョンによって表示が異なります)



①画面左上、「ファイル」を選択

②名前を付けて保存からコンピューターを選択

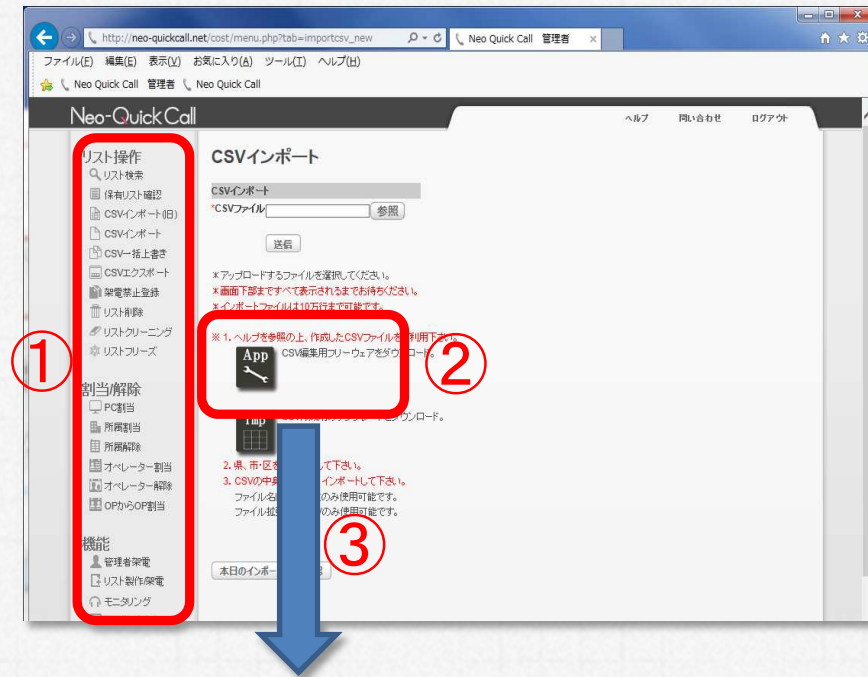
③デスクトップ等分かりやすい場所を選択後、ファイルの種類を「CSV(カンマ区切り) (*.csv)」をへ変更し、保存する

PART2: リストインポート編

10. リストデータを保存する

EXCELをお持ちで無い方は、下記手順にて保存する

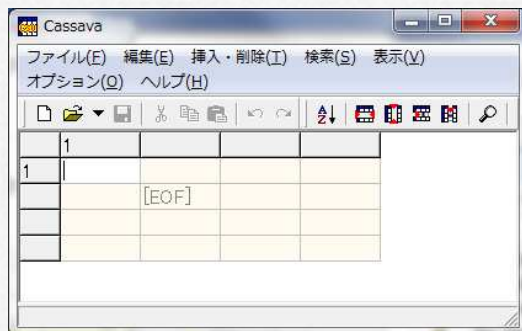
・加工の際に必要なcassava(キャッサバ)のインストールを行います。



①管理者メニューから「CSVインポート」を選択

②APPと書いてあるアイコンを押下し、ソフトをダウンロード

③ダウンロードしたソフトを展開する



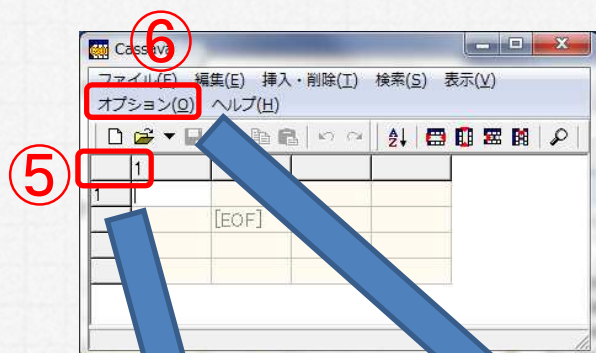
次ページへ続く

PART2: リストインポート編

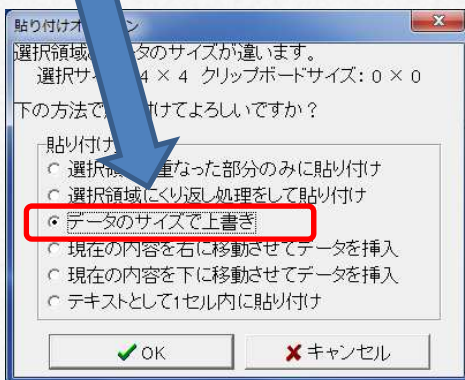
10. リストデータを保存する

A	B	C
電話番号	会社名	住所
0120-275-	コスト削減	福岡市博多
092-433-	コスト削減	福岡市博多

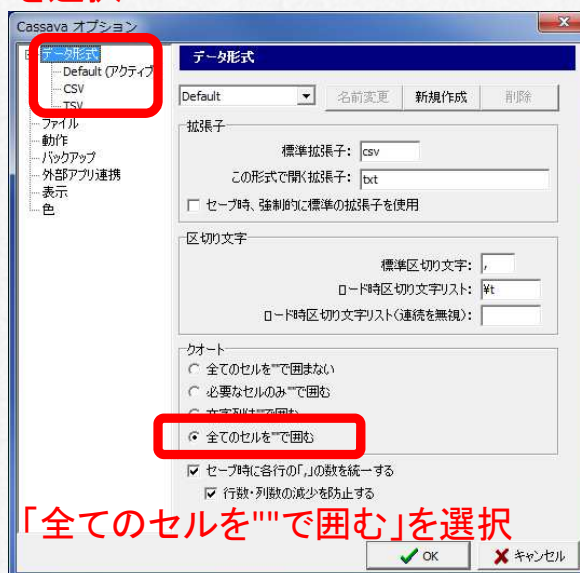
④



⑤



CSVを選択



「全てのセルを""で囲む」を選択

④ これまでの項目で作成したリストを**全てコピー**する

⑤ 赤枠部を右クリックし、「形式を選択して貼り付け」を選択後、CSVを選択する。

※貼り付けオプションが表示された場合は「データサイズで上書き」選択

⑥ オプション内の「オプション」を選択し、データ形式から「CSV」を選択する。その後、「全てのセルを""を囲む」にチェックを付け「OK」を選択

①～③までの処理が済みましたら「ファイル」→「名前を付けて保存」→ファイルの種類を「CSV」へ選択後、保存を行ってください。

PART2: リストインポート編

11. リストをインポートする

- ・作成したデータを用いて、インポートを行う。

Neo Quick Call 管理者

ヘルプ 問い合わせ ログアウト

リスト操作

- リスト検索
- 保存リスト確認
- CSVインポート(旧)
- CSVインポート
- CSV一括書き
- CSVエクスポート
- 架電禁止登録
- リスト削除
- リストクレンジング
- リストフリーズ

割り当解除

- PC割当
- 所属割当
- 所属解除
- オペレーター割当
- オペレーター解除
- OPからOP割当

機能

- 管理者架電
- リスト製作架電

CSVインポート

CSVファイル **参照** **送信**

※ labbit phone インポート用FCのみ(検証中). csv アップロード成功
※ 画面下部まですべて表示されるまでお待ちください。
※ インポートファイルは10万行まで可能です。

※ 1. ヘルプを参照の上、作成したCSVファイルをご利用下さい。
CSV編集用フリーウェアをダウンロード。

App

Tmp CSV作成用のテンプレートをダウンロード。

2. 県、市・区を必ず選択して下さい。
3. CSVの中身を確認後、インポートして下さい。
ファイル名は半角英数のみ使用可能です。
ファイル拡張子はCSVのみ使用可能です。

本日のインポートリスト確認

※項目選択

3項目 自動選択されました

リスト項目	項目選択
電話番号(必須)	電話番号
県(必須)	無し
市・区(必須)	無し
会社名	会社名
住所	住所
業種	無し
0120利用	無し
FAX	無し
ホームページ	無し
メール	無し
事前情報8	無し
架電結果	無し
ネット回線	無し
電話回線	無し
0120利用	無し
テレアホ業務	無し
転送	無し

インポート

① 前項目で作成したデータを参照

② データを送信

③ データを取り込む列をそれぞれ参照させる。※必須項目有り

④ インポートする

インポート結果

※件インポートしました。

or

インポート結果

92 ***** 追加失敗
92 ***** 追加失敗
92 ***** 追加失敗
92 ***** 追加失敗

0件インポートしました。

インポートが完了したら結果が出力されます。
(左図参照)

件数が多い場合、時間が掛かります。

エラーが出た場合、エラー内容を確認してください。

PART3: リストの割り当て

12. リスト割当を行う

・インポートしたリストを所属及びオペレータへ割り振る。

① 管理者メニューより「所属割当」を選択

② 呼び出すリストの条件を選択する
※全てリストを割り当ててる場合、選択する必要はありません

③ 「検索結果件数の表示」を押下し、「割り当ててる件数」から数値を入力し、「割り当て実行」から割り当てます。



同様の手順を管理者メニューの「オペレータ割当」から行います。オペレータへの割当は所属が保有しているリストから行います。手順としては「所属割当」→「オペレータ割当」となります。

以上で設定は終了となります。
オペレータ画面へログインし、
リストを確認してください。

詳細な設定については別紙「仕様書
マニュアル」をご確認ください。

株式会社 コスト削減グループ
発行日：2014年6月26日 第1版